

FOLFIRINOX 療法

I-LV(レボホリナート)+L-OHP(オキサリプラチン)+CPT-11(イリノテカン)+5-FU

【適応】

治癒切除不能な膵臓がん

【投与スケジュール】

Day1

Day2

5-FU ポーラス
400mg/m² (15分)

制吐剤	I-OHP 85mg/m ² (2時間)	I-LV 200mg/m ² (2時間)	5-FU 持続静注 2400mg/m ² (46時間)
		CPT-11 180mg/m ² (1.5時間)	

2週を1コースとして繰り返す。

適正使用の目安(適正使用ガイドより抜粋)

項目	適正使用	慎重投与	投与禁忌
Performance Status	0~1		2以上
年齢	65歳未満	65歳以上	
好中球	1コース目	2000以上	2000未満
	2コース以降	2000以上	1500~2000未満
血小板	1コース目	10万以上	10万未満
	2コース以降	10万以上	7.5~10万未満
T-Bil/黄疸	施設基準上限(ULN)以下 かつ黄疸を認めない	ULN~ULN×1.5以下 かつ黄疸を認めない	ULN×1.5超 黄疸を認める
下痢(水様便)	認めない		認める
UGT1A1 遺伝子多型 ホモ(UGT 1 A1*6/*6、 UGT1A1*28/*28)又はダ ブルヘテロ(UGT 1 A1*6/*28)接合体	もたない	もつ	

減量基準(参考)

副作用	程度	減量方法			
		CPT-11	L-OHP	5-FU(急速)	5-FU(持続)
好中球減少	1)2 コース目以降の投与可能条件を満たさず延期 2)500/mm 未満が7日以上持続 3)感染症又は下痢を併発し、かつ1000/mm ³ 未満 4)発熱性好中球減少症	・CPT-11を優先的に減量 ・CPT-11の投与レベルがL-OHPの投与レベルより低い場合はCPT-11と同じレベルになるまでL-OHPを減量する ・投与レベルがLevel-3に達した場合、該当薬剤は投与を中止する。	中止	中止	中止
下痢	発熱(38℃以上)を伴う				
	Grade3以上				減量
血小板減少	1)2 コース目以降の投与可能条件を満たさず投与を延期 2)5万/mm ³ 未満の場合	・L-OHPを優先的に減量 ・L-OHPの投与レベルがCPT-11の投与レベルより低い場合はL-OHPと同じレベルになるまでCPT-11を減量する ・投与レベルがLevel-3に達した場合、該当薬剤は投与を中止する。	中止		
T-Bil 上昇	2.0mg/dL 超	減量			
	3.0mg/dL 以下	120mg/m ²			
	3.0mg/dL 超	減量			
		90mg/m ²			
粘膜炎	Grade3以上				減量
手足症候群					
末梢神経障害	投与当日の程度がGrade2		減量 65mg/m ²		
	投与当日の程度がGrade3		休薬 回復後65mg/m ² に減量		
	Grade4		中止		

減量時の投与量

投与レベル	CPT-11	L-OHP	5-FU(急速)	5-FU(持続)
Level0(初回)	180mg/m ²	85mg/m ²	400mg/m ²	2400mg/m ²
Level-1	150mg/m ²	65mg/m ²	中止	1800mg/m ²
Level-2	120mg/m ²	50mg/m ²		1200mg/m ²
Level-3	中止	中止		中止

※複数の副作用発現時を除き、全ての薬剤を1Level 減量しないように注意